

進路たより



学校斡旋による就職

知っておこう！

学校斡旋による就職については、次のような位置づけになっているので、知っておきましょう。また、進路のしおりのp.8から就職について詳細が記載されているので、一目通しておきましょう。

- 高校生の就職は、進路指導部がハローワークから職業斡旋業務の一部を委託されています。企業は「高卒用求人票」(P.12~P.15参照)に必要事項を記入したものをハローワークへ提出し、7月1日以降に受理・確認印が押印された求人票の写しを、採用したい学校に送ってきます。
- 進路指導部では、それらを整理して「求人一覧表」として就職希望者に配布すると同時に、求人票のコピーをファイリングして進路資料室で閲覧できるようにしています。求人票には企業について知っておくべき最小限のことがすべて記載されていますので、すみずみまで目を通すようにしてください。現在、進路資料室には今年度の3年生向けにきた求人票のコピーがあるので、就職を考えている人や迷っている人は、一度閲覧し、参考にしてください。

ハローワークとは・・・(別名：公共職業安定所)

民間の職業紹介事業等では就職へ結びつけることが難しい就職困難者を中心に支援する最後のセーフティネットとしての役割を担う、国(厚生労働省)の機関です。

ハローワークでは、地域の総合的雇用サービス機関として、職業紹介、雇用保険、雇用対策などの業務を一体的に実施しています。

※ ハローワークで紹介されている求人情報は原則、一般の人向けです。

つまり、採用後はすぐに働けることが前提になっています。卒業見込みの高校生は対象ではありません。したがって、ハローワークで求人情報を見つけてきて「ここが・・・」と申し出てもらっても対応できません。



求人受付から採用内定までの流れ

進路のしおりのp.10に記載されている採用までの流れを簡単に載せておきます。

① 求人受付(7月1日~)

求人受付とは、職業安定所の受付印が押された求人票を企業が学校へ郵送または持参することです。(毎年度、同じ企業・職種で求人が来るとは限りません。)

② 就職斡旋申込(夏期休業中)

例年7月下旬から8月上旬にかけて、校内において推薦会議が行われます。就職希望者は推薦会議までに、受験したい企業を選び、「就職斡旋申込書」を担任に提出します。一度の申込みで第3希望まで申し込むことができますが、推薦されるのは1社です。

③ 推薦会議(夏期休業中)

就職斡旋申込書にもとづいて推薦会議を開き、企業の職種ごとに推薦する生徒を決定します。推薦会議は、3学年担任と進路指導部により厳正に行われます。求人企業の推薦依頼人員数より申込者が多い場合は、推薦会議により推薦者を選考します。

④ 応募書類発送(9月5日までに)

推薦決定者には履歴書(全国高等学校統一用紙)が渡されます。指定の日までに郵送料を添えて、担任に提出してください。9月5日からの企業の応募書類受け付けに間に合うように発送します。

⑤ 就職試験日の通知

企業から就職試験日の通知が学校に届いたら、担任を通じて連絡します。企業によっては、選考にかかる旅費を支給してくれる場合があります。学割が利用できる場合は、学割の手続きを行い、利用するようにしましょう。

⑥ 受験(9月16日以降)

企業より指示された日に就職試験を受けます。受験したら「就職試験報告書」を記入し、翌日(休日の場合は登校した日)に担任に確認してもらった後、進路指導部に提出しましょう。

⑦ 選考結果通知

受験後、約1週間ほどで選考結果通知が学校に届きます。結果は、担任を通じて連絡します。合格者(内定者)は、企業の人事担当者あてに内定礼状を書き、3日以内に投函します。不合格者は個別に企業に相談、合同説明会に参加するなどして、再受験先を決めます。

⑧ 近況報告書の送付

内定した企業に入社までの間に近況報告を出します。9月下旬から10月上旬に内定した生徒は、11月初旬頃に一度出しましょう。12月には年賀状、1月下旬頃にもう一度近況報告を出しましょう。また、企業から入社前教育としてレポート等の提出を求められる場合があります。